
あの日の俺達

秋桜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あの日の俺達

【Nコード】

N0242Z

【作者名】

秋桜

【あらすじ】

高校3年生で甲子園優勝投手とり一躍有名人となった桜花 雅紀
彼が唯一後悔するのは中学時代、あの日の俺達は・・・
これは桜花 雅紀の中学時代のほんの1ページである。

もうすぐ体育祭（前書き）

とてつもなく文才がないますがどうかよろしくおねがいします

もうすぐ体育祭

「つまらん・・・」

それが今年、中学3年になった俺の感想だった。1年のときは割と楽しい感じのクラスになった。部活も野球部に入り厳しい練習にも絶えて

レギュラーにもなった。(ウチの中学が弱小だったからでもあるが・・・)

2年のときは正直、学校に行きたくなかった。まあ軽いイジメである。女子から面と向かってキモイだのなんだの言われてあんまり学校に行きたくなかった。

そいつらのせいで不良グループに入っているいろやらかしたしタバコも吸った。酒も飲んだ。でも野球にマジメに取り組む同級生たちを見てタバコも酒もやめた。

そして俺たちは全国大会まで行けた。俺もそこそ有名になったと思う。

そして3年みんなもう受験生モード全快で正直、2年でバカばっかりやってた俺だけが浮いているようだった。

「つまらん・・・」

そういつて席を立ち教室を出る。(ちなみに今は一時間目の授業中である。)

「よう!」

「・・・朝からうつさいのお」

一人で廊下を歩いていると、俺の親友の幸樹が声をかけてきた。幸樹は2年のときに一緒にいろんなことをやらかした俺の相棒である。

「お前、今日は早いじゃん」

「・・・もうすぐ体育祭じゃからのお」

「ハア！？お前、体育祭なんか出んの！？」

「一応のお、まあ気分が向いたんじゃ」

「わかった！！じゃあ俺も出よう！！・・・で！なんで体育祭が近いから早いんだ？」

「・・・はあ。今日は体育祭の説明とか準備とかいろいろあるんじゃない。とりあえず面倒くさくないところはちゃんとやろうと思ってる」

「あゝなるほど。そういうば3時間目からそんなのあったな」

「そういうことじゃ、じゃあワシは寝てくる」

「おやすみ」

俺たちは一旦わかれて、また屋上で合流するのがいつものパターンだった。

まあ基本、俺が屋上で寝ているだけなのだが・・・

そんなこんなでいつもの一日が終わるのだった。

もうすぐ体育祭（後書き）

かなりの文才のなさに驚きのかたも多いかと思います。こんな作品を最後までお読みくださったかた本当にありがとうございます。いろいろアドバイスをくれたらうれしいです。今後ともよろしくおねがいします

人物紹介（前書き）

今回は人物紹介です。

人物紹介

・桜花 雅紀

主人公

左投げ、左打ち。中学では一塁手を主に守り、二番手投手だった。

話し方は主に「じゃ」など老人のような言葉を語尾につける。

自分のことは「ワシ」や「俺」と気分によって使い分ける。学校1の不良で、学校中（野球部の仲間以外）から怖がられている。

趣味はギターを弾くこと。

岩葉第一高校の野球部志望（後に岩葉のエースとして甲子園優勝に導く）

・飯島 幸樹

雅紀の親友で、幼馴染、野球部ではあったが3年間ずっと補欠で試合には一度もでたことがなかった。

雅紀と同じく不良で、学校では雅紀以外とは話さない。

岩葉第一高校志望（後に岩葉の捕手として甲子園で活躍）

・岩本一喜

雅紀と同じ野球部で雅紀とも仲が良かったがある事をきっかけに雅紀と対立してしまう。

南第一高校の野球部志望

・秋本美和

ヒロイン

雅紀たちの1年後輩、あることをきっかけに雅紀に好意をいタク。

バスケット部のエース

・内田真帆

雅紀と仲の良い友達。女ではあるがとても男っぽい。美和の相談を受けている。

本バスケット部のエース

人物紹介（後書き）

次話からは体育祭突入です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0242z/>

あの日の俺達

2011年12月1日18時46分発行